

■平成28年7月20日（水） 1・2年生メンバー7名参加。

■平成28年7月26日（火） 1・2年生メンバー6名参加。

最近、中学校でも授業等でディベートを取り入れるようになってきました。八幡高校でも、総合的な学習「人となる」（一年生）で、日本語によるディベートを行いますが、英語によるディベートはほとんどの生徒が経験していないようです。このため、夏休みに行われる英語キャンプも目前に控え、ハセックで英語ディベートの基礎を勉強しました。

今回は、constructive speech→Q&A→attack, defense, summary というディベートの試合の流れを確認し、いくつかのテーマ（proposition）について、日本語で行いました。

中学校時代に経験した2名を除き、ほぼ全員がディベート初挑戦。少しずつ、着実に慣れていってほしいものです。

■平成28年7月31日（日）～8月1日（月）

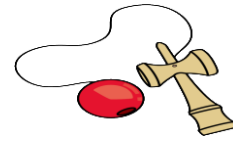
第4回滋賀県高校生 Make-friends English Camp

（新校・長浜北高等学校にて、1・2年生メンバー10名参加。）

昨年度は、実施できなかった夏の英語合宿。今年度は、紹介した直後に、「是非参加してみたい！」との積極的な声。新校・長浜北高校を会場に、同校のESSと安曇川高校 ESS も参加。20名の英語好き高校生が一堂に会し、make-friends「友人の輪を広げよう」のコンセプトの下、意義深い1泊2日の研修を体験しました。

1日目は、滋賀大学の先生による特別講義でスタート。日頃の英語学習を振り返り、発音の基本を見直しました。そして、英語ディベート、スカイプを利用した海外の学生との交流などを行いました。今回のディベートは、「中高生のLINE使用は禁止すべきである。是か非か。」が論題。HASECで2回ほど練習はしてきたものの、やはり難度が高く悪戦苦闘する生徒もいましたが、チームメンバーと協力しながら、constructive speech(立論スピーチ), attack(攻撃), defense(防御), summary(要約)のそれぞれのパートを、一生懸命取り組みました。

夕食後のスカイプでの交流では、3部に分け、最初に相手の顔を隠して、一人一質問を英語で行い、出身国を当てました。台湾出身の学生だと分かたら、次は学校別の日本文化紹介。新校・長浜北高校による「折り紙の兜(かぶと)」に続き、本校生徒は「剣玉」を紹介しました。



まず、リーダーの小森さんが英語で説明した後、みんなで、「剣玉遊び」をしました。相手も、満面の笑みを浮かべ、興味津々のようでした。その後、「剣玉」についての質問タイム。簡単な質問に始まり、その歴史に関する質問まで受けましたが、慌ててインターネットで調べて英語に訳出するなど、心地よい緊張感も走る発表となりました。最後は台湾の学生への質問タイム。八幡高校生も、台湾の社会事情、学校の様子などについて、全員が質問しました。



2日目は、朝食の後、英語の warming-up を行い、グループに分かれての未来発見型・英語プレゼンテーション。



「滋賀の未来」「100年後、このような世界になっていたらいいな」など、様々な角度からテーマを設定し、論理の一貫性に注意し、発表用のポスターも作成しながら、ユニークな「未来予想図」を作り、グループ毎に発表していきました。また、この応用活動として、その「未来予想図」に基づいた内容で、スキットを作成。「一人、必ず1回は英語の台詞を入れる」ことを最低ルールとして、スキットに親しむ時間も設けました。「『ドラえものの道具』を活用した滋賀県の観光地化とその影響」など、どのグループも面白いテーマで発表しま

した。

全日程終了後、本校の参加生徒でミーティングをおこないました。1日目の「ディベート活動」にはやや苦勞したものの、総じて満足だったという印象だったようです。英語の4技能のバランスも考えて企画された今回のキャンプ。この経験を、今後の英語力や文化発信力の飛躍へのステップに、是非活かしてほしいものです。



【要項を以下に掲載させていただきます。】

第4回 高校生 Make-friends English Camp 実施要項

- 1 主催 フレンドシップカッププレシテーションコンテスト（滋賀県高等学校英語教育研究会主催）実行委員会教員有志
- 2 協力 滋賀大学教育学部
- 3 目的 フレンドシップカッププレシテーションコンテストに向けて、英語の発音力を鍛えるとともに、プレゼンテーションやスキット、ディベートなどの英語学習活動をとおして、県内の高校生との親睦を図る。
- 4 日時 平成28年7月31日（日）～8月1日（月）
- 5 場所 （新校）滋賀県立長浜北高等学校
（〒526-0847 長浜市山階町 352 TEL 0749-62-0238）
- 6 参加対象 滋賀県内の高校生、英語教育に関心のある学生、教員
※ 教員の参加については、生徒引率がある場合、従来、部活動の練習試合と同様の扱いとなっています。
- 7 特別講師 滋賀大学教育学部 教授（英語教育） 大嶋 秀樹 先生

8 日 程

7月31日(日)

13:00 集合・受付

13:20 開会&Ice Breaking

13:30 記念講演(滋賀大学 大嶋秀樹教授)

「発音、ディベートの面白さ、大学生になる迄に必要な英語力や論理力」

14:30 昼食休憩

14:40 英語で Debate 講座

- ・ミニ講義「効果的なディベートの進め方」(県立守山中学校 戸田行彦先生)
- ・教員によるデモンストレーション
- ・学校混合でAFF(賛成派)とNEG(反対派)に分かれて準備
お題:「中高生のライン使用を禁止すべきだ。」
- ・試合【90分】 全体で講評【10分】 振り返りシートに記入

17:50 歓談、写真撮影 18:00 夕食、入浴

19:30 SKYPEで海外の高校生と交流しよう

22:00 就寝

8月1日(月)

6:30 起床 7:20 朝食 8:30 英語 warm-up(八幡高校 中西勝弘先生)

9:00 未来発見型プレゼンテーション(新・長浜北高校 坂本美佳先生)

「滋賀の100年後」「こんな町ならいいな」「行ってみたい海外の街」など

10:00 ポスターセッション(英語プレゼン発表)

10:30 英語スキット作成(安曇川高校 杉浦悠真先生) 11:00 スキット発表

12:00 閉会

9 参加費 2,000円(夕食+宿泊+朝食の場合)

10 持参物 飲み物、参加費・交通費等、筆記具、ディベートに必要な物(タイマー・付箋など)、辞書、着替え、テーマについての資料(可能であれば持参。調べた内容や evidence 等をクリアファイルに整理しておくとうい)、洗面用具(浴室に石鹸、シャンプーの設置無し)、常備薬等、そして、「楽しもうとする気持ち」。

■平成28年8月10日(水) 1・2年生メンバー5名参加。

本校では8月23日(火)に、中学生一日体験入学が実施されます。今回は、これを前に、夏休みに参加した高校生 Make-friends English camp での感想等も含め、今までの HASEC 活動での学びや八幡高校で過ごした日々を振り返り、個人個人が英語でアピールするというメッセージ動画を作成しました。

中学生一日体験入学の「模擬授業(英語)」でも紹介しました。

■平成28年8月24日（水） 1年生メンバー1名参加。

今日は、珍しく午後の時間帯の活動となりました。部活の都合等で、欠席者が多く、残念ながら参加者は1名でした。

今回は夏休みの思い出を英語で語り、その後、英文を熟読する時間を持ちました。

1年生は、9月に実施される校外学習で京都を訪れます。その事前学習としても好機だと判断し、今年4月にオープンした「京都鉄道博物館」についての英語の説明文を準備し、生徒1人教員2名の計3名で、丁寧に読みました。

読後は、内容について英問英答をし、ALTのニア先生にも協力いただいて、鉄道の日米比較もおこないました。



ニア先生は、アメリカ（ミシガン州）の鉄道事情を詳しく説明してくださり、その後、質問も出し合いました。ミシガン州にも鉄道はあるものの、本数が限られ、夕刻になると運転されなくなることが多かったり、電車のやりくりがスムーズに進まない箇所があるなどの現状が説明されました。

やはり、日本の鉄道の運行時刻の正確さや、乗車してみたの快適さは世界に誇れるものだと、印象を新たにしました。

